

7 小学校高学年用「カタクリの花」 指導例

本資料では、奈良県御所市と大阪府南河内郡千早赤阪村との境に位置する葛城山（大和葛城山）の自然の一部を取り上げている。葛城山の頂上付近には、カタクリ群生地が残されており、ギフチョウの生息地ともなっている。カタクリやギフチョウ、またギフチョウの幼虫の食草であるミヤコアオイが織りなす葛城山の生態系の精妙さや貴重さを知り、自然保護や環境保全について考えさせることをねらいとしている。

展開前段では、葛城山の自然に出会ったときの主人公の驚きや気持ちの変化について、母やおじさんの言葉等を手がかりにして考え、自然の素晴らしさやかけがえのなさを感じ、自然保護への思いを深める主人公に共感させたい。また、展開後段では生活体験や各教科等の学習で自然について感じたり考えたりしたことを自由に話し合わせ、自然保護や環境保全に積極的に関わろうとする意欲を高めたい。

- ◆ **主題名** 自然を守る 指導内容 高3－(2)
- 資料名** カタクリの花 (奈良県郷土資料 県教育委員会)

◆ ねらい

葛城山の自然に触れ、その素晴らしさやかけがえのなさを感じる主人公の気持ちの変化について話し合うことを通して、自然を大切に、守ろうとする心情を高める。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、カタクリの花について話し合う。	○ この花を知っていますか。	・カタクリの花の写真を提示し、資料への興味・関心を喚起する。資料中の写真を拡大して使用してもよい。	写 真
展 開	2、資料「カタクリの花」を読んで話し合う。	○ 葛城山の頂上に着いて「ああ、来てよかった。」とつぶやいたとき、ノリコはどんなことを思っていたでしょう。 ・きれいな景色だな。 ・大変だったけどがんばったかいがあったな。	・はじめに山登りを迷っていたことや登山道での苦労を想起させ、山を登り切った達成感、充実感に気付くことができるようにする。	
開		○ カタクリだけでなく、ギフチョウやミヤコアオイのことをおじさんから聞いたとき、ノリコ	・カタクリやミヤコアオイ、ギフチョウなど葛城山の生き物の関係を丁寧に押さえ、	

展		<p>はどんなことを思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年もかかってカタクリの花が咲くことや、蜜を吸うギフチョウのことなんて知らなかった。 ・自然の中には、いろいろな生き物の関係があるんだな。 	<p>そのことを知った主人公の驚きに共感できるようにする。</p>	
開	<p>3、自分を振り返る。</p>	<p>◎ 葛城山に来て本当によかったなと思ったノリコは、どんなことを考えているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛城山の自然の素晴らしさが分かった。カタクリなどの生き物を大切にしたい。 ・自然は何か一つが欠けても守ることができないんだ。 ・これから自然を守るためにできることをしていきたい。 <p>○ 身近な自然を守りたいと思ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外活動で自然の大切さについて話を聞き、野草などに気を付けようと思った。 ・クリーンキャンペーンのとき、川がとても汚れていると思った。進んでゴミなどを拾いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書き込むことを通してじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。 ・山頂に着いたときの「ああ、来てよかった。」との違いに着目させるなど、ノリコの自然保護への心情の高まりに気付くことができるようにする。 ・児童の生活体験や各教科等の学習で感じたことなどを自由に話し合わせ、身近な自然を大切に、守ろうとする意欲を高めるようにする。 	ワークシート
終末	<p>4、「心のノート 小学校5・6年」を開き、読んだり書き込んだりする。</p>	<p>○ 「心のノート」70、71ページを開きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のノート」を活用するほか、自然を守るために力を尽くしている人々や指導者自身の自然に対する思いについて話すなど、自然を大切に守ろうとする心情を温める。 	「心のノート」

※「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm